

平成29年4月7日

自立生活センターアークスペクトラム

代表者 岡田 健司 様

独立行政法人国立病院機構

宇多野病院長 杉山 博

質問書の回答について

この度は当院の虐待事案に関しまして、ご心配をおかけしまして、誠に申し訳ございません。今後、信頼回復に全力を上げて取り組んでまいりたい所存です。

つきましては、貴職より頂きました質問書について、下記のとおり回答致しますので、ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

○今回明らかになった虐待行為への認識の不十分さは、過去、入所者に対する虐待が行われていたにも関わらず気付いていなかった、あるいは気付いていたが虐待行為には該当しないと判断していた可能性について、どのような見解を持ちかお聞きしたい。

回答：過去の虐待の有無については、当院の療養介護サービス事業所において関係職員に対して調査した結果、大きな声を出すなどの不適切な事案はあったものの、虐待と思われる事案は確認できませんでした。現在、院内全体で虐待の可能性のある事案について、調査しております。

○宇多野病院の基本理念に基づいたサービスを鑑みると、入所者およびご家族に対し虐待についての正しい理解と虐待防止のための取組み説明がされていたのかどうかについて、どのような見解を持ちかお聞きしたい。

回答：入所者およびご家族に対しては、虐待についての説明は行えていませんでした。現在は、相談窓口の設置を含め、当院の虐待防止のための取組みを説明しております。

○療養介護サービス提供の大前提の認識、また今後のサービス提供の実施は自主的な改善報告の作成と報告義務のあり方に依ることについて、どのような見解をお持ちかお聞きしたい。

回答：当院としては、今回の事案を重く受け止め、自主性を持って改善策を実施していきます。また、虐待行為の未然防止・再発防止をサービス提供の大前提として、改善の取組を進めていきます。また改善報告については、4月27日（木）までに京都市に提出することになっており、京都市に改善内容を確認頂いた後に、公表することを考えております。

○改善報告書作成にあたって客観的な視点に基づく第三者評価委員（外部委託）を組織し、客観的な視点に基づく勧告を病院あげて徹底することについて、どのような見解をお持ちかお聞きしたい。

回答：京都市からの改善勧告に従いまして、第三者を加えた透明性・実効性のある虐待防止委員会に改正し、病院全体で改善内容を徹底していくこととしております。

以上